

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	メイクアップ実習実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	条 由香里、佐藤 圭		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	241	
授業概要、目的、授業の進め方	1.メイクアップの基本テクニックを身に付け、「FORUM MAKE-UP PARIS」の修了証の取得を目指す 2.撮影時のメイクアップ技術を学び、作品を撮影し、フォトコンテストの入賞を目指す					
学習目標 (到達目標)	「FORUM MAKE-UP PARIS」修了証取得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」、「HOW TO MAKE FACES」、メイク道具一式、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
4月	教材配布、テキスト「MAKE-UP COURSE TEXT」座学		講義 テキストp6～25			
5月	スキンケア、メイクアップ実習（基本、曲線）		実習 テキストp27～39			
6月	メイクアップ実習（直線）		実習 テキストp32～39			
7月	パーソナルメイク、試験対策、「FORUM MAKE-UP PARIS」修了試験		実習 テキストp40～45			
9月	「City&Guilds」の試験について、テキスト「HOW TO MAKE FACES」座学		実習 テキスト1 p4～5、11～39			
10月	ベースメイク、ソフトメイク、シャープメイク		実習 テキスト2 p4～7			
11月	ソフト&シャープメイク（半顔ずつ）		実習 テキスト2 p4～7			
12月	期末試験に向けて、模擬試験、期末試験		相モデルでの実習、チェックング			
	専攻メイク					
9月	撮影に向けた作品構築（グループでの役割決定、作品のイメージを固める）		3人1グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
10月	撮影に向けた作品構築（ヘア、メイクのバランスを考える）		3人2グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
11月	撮影に向けた作品構築（衣装、小物との最終バランスを考える）		3人3グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
12月	作品構築、撮影		3人4グループ（モデル、ヘア担当、メイク担当）での実習、チェックング			
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
実技試験 80%、学習意欲 15% レポート 5% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			基本的なメイク技術をしっかりと認識して実習に臨むこと。積極的に実習に取り組み、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守ること。毎回、実習後にはメイクのデッサンを記入し、前期、後期の期末試験時に提出すること。			
実務経験教員の経歴	現在もメイクアップアーティストとして10～15年間携わっており、基本的メイク技術・知識はもちろん、最新技術・トレンドの指導も可能。					

科目名	ネイル実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	植木 絵美・水落 眞子		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	226	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験3級・ジェル検定初級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	教材配布、衛生・消毒・ネイルケアの流れ		JNAテクニカルシステム ベーシックP38、39、70～P73、74			
2	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP8～P29			
3	ネイルケア デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81)			
4	フラットアート デモンストレーション後、チップにて実習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP118～P134)			
5	エンボスアート デモンストレーション後、チップにて実習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP141)			
6	座学		JNAテクニカルシステム ベーシックP38～P67			
7	日本ネイリスト協会名誉本部認定講師 萩原直見先生による特別講義		JNAテクニカルシステム ベーシックP30～36、76)			
8	ネイルカラーリング デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84)			
9	フラットアート 3級用ネイルアート演習		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP124～P127)			
10	相モデルにて両手ネイルケア		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P81)			
11	相モデルにて両手ネイルカラーリング		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP82～84)			
12	相モデルにて両手ネイルケアカラーリング		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P84)			
13	ネイリスト技能検定試験3級 要項確認		JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項			
14	ネイリスト技能検定試験3級対策 実習・筆記		実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP74～P84)			
15	ジェルの特性と扱い方・知識		JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23)			
16	ジェルの塗り方 デモンストレーション後、相モデルにて実習		実習 (JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P56～P60)			
17	ジェルアート (ピーコック) デモンストレーション後、チップにて実習		実習 (JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P96～P99)			
18	ジェル検定 初級対策 実習・筆記		実習 (JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P18～P23、P56～P60、P96～P99)			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
定期試験 10%、実技試験 10%、学習意欲 70% レポート 10%  成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。			道具の扱い方、手順を学ぶだけでなく、お客様の手の預かり方や誘導の仕方も丁寧かつスマートに扱うことを身に付けます。各章毎での技術の重要箇所を教科書で確認し、実習を行いましょう。また、定期テスト、各検定試験合格に向けての練習も重要です。			
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。					

科目名	ネイル実習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	齋藤 明子・植木 絵美・川崎綾子			実務授業の有無	○	
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	424	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験1級・ジェル検定中級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする。サロンワークに必要なカウンセリング力と技術力を身に付ける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック、JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～、co-medicalネイルケア、JNAテクニカルシステム アドバンス、SpaLuceエド्यूケーターマニュアル					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、商材の特徴説明			配布教材を確認しながら、使い方や特徴を伝える		
2	スカルプチュア デモンストレーション後、練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
3	スカルプチュア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
4	マシンでのジェルオフ 特徴・操作の仕方 練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P82～P83）		
5	マシンでのジェルオフ 特徴・操作の仕方 相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P82～P83）		
6	マシンでのネイルケア 特徴・操作の仕方 練習用ハンドで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P86）		
7	マシンでのネイルケア 特徴・操作の仕方 相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P86）		
8	エアブラシの特徴と操作の仕方。デモンストレーション後、チップで実習			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP124～P138）		
9	エアブラシで5本ワンセットのアート作品を制作			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP124～P138）		
10	ジェル フレンチネイル デモンストレーション後、チップで実習。相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P93～P95）		
11	足のトラブルについて			座学（co-medicalネイルケアP22～P54）		
12	フットケア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（SpaLuceエド्यूケーターマニュアルP1～P15）		
13	ネイリスト技能検定試験1級 要項確認			JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項		
14	ネイリスト技能検定試験1級対策 実習・筆記			実習（JNAテクニカルシステム アドバンスP38～P49、P60～67）		
15	ジェル グラデーションネイル デモンストレーション後、チップで実習。相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P89～P91）		
16	ジェル スカルプチュア デモンストレーション後、相モデルで実習			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P63～P66）		
17	ジェル検定 中級対策 実習・筆記			実習（JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～P89～P91、63～P66、P93～P95）		
18	サロンシミュレーション実習			実習（入店～退店までのロープレ）		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 10%、実技試験 10%、学習意欲 70% レポート 10%  成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				プロネイリストとして求められる技術力・接客力を身に付けるために、確認や復習をしっかりと行いながら実習授業を受けましょう。そして、言葉遣いや立ち振る舞いなども接客する上でとても重要です。また、各種検定合格に向けての練習も重要です。		
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。					

科目名	ヘアアレンジ					【対面授業のみ実施】
担当教員	鈴木 きい		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	前期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	18	
授業概要、目的、授業の進め方	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイルを習得。 ヘア&メイクとしてトータルサービスの技術提案ができるようにする。また、進路選択の幅を広げる。 ウィッグを使用し実践。					
学習目標 (到達目標)	ヘアアレンジの基礎技術と応用スタイル制作の習得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィッグ、ヘアアレンジの道具、補助プリント					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	道具の使い方、ブラッシング、パーティング、一束縛り、ピニング		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
2	スタイル制作「アップスタイル」 (アイロンノ巻き方、散らし方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
3	スタイル制作「おだんごスタイル」 (すき毛の使い方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
4	スタイル制作「ブライダルスタイル」 (バックコーミングのやり方)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
5	スタイル制作「編み込みスタイル」 (表三つ編み、表編み込の基本)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
6	スタイル制作「編み込み応用スタイル」、「自由制作」 (ロープ編み込、フィッシュボーン)		講義、デモンストレーション、ウィッグ制作			
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意			
学習意欲 60% 課題制作 40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。			ウィッグで制作するが、お客様と想定し施術すること。 習った技術を自主練習や友人知人で実践することで技術の向上を目指すこと。			
実務経験教員の経歴	美容室現場にて11年美容業に携わっていたことから、より現場に近い、使えるの技術指導も可能である。					

科目名	フェイシャル理論					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村 亜友			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	33	
授業概要、目的、授業の進め方	メイクのベースである肌。肌の知識の基本を学ぶことでメイクスキルの向上を目指します。 前期：理論 後期：実技					
学習目標 (到達目標)	皮膚の構造を知る。クレンジングの基本を学ぶ。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント、フェイシャル実習道具					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	理論 フェイシャルについて			講義 補助プリント		
2	理論 皮膚の構造・自分の肌を分析・発表			講義 補助プリント		
3	理論 皮膚の構造・細胞・血液			講義 補助プリント		
4	理論 皮膚の構造・循環			講義 補助プリント		
5	理論 皮膚の構造/夏休み課題について「モデルさんの肌状態」			講義 補助プリント		
6	理論 皮膚の構造/夏休み課題発表			講義 補助プリント		
7	フェイシャルケアの基本（自分の肌に触れる）			クレンジング手順の解説、相モデル実習		
8	フェイシャルケアの基本（クレンジングと拭き取り）			相モデル実習		
9	フェイシャルケアの基本（クレンジングと拭き取り）			相モデル実習		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 20%、学習意欲 80%				商材を使用し、肌に異変を感じた場合はすぐに申し出る事。実習をする際は、モデルへの配慮、気遣い、マナーを守る事。		
成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	サロンマネージメント					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈・田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	159	
授業概要、目的、授業の進め方	<p>各教務・卒業生などの体験談を伝えながら、「働く」ということへの意識付けを行う。ロープレを行いながら、店頭・サロンに立った際のイメージを沸かせる。</p> <p>①美容部員・ネイリストの仕事について            ②1日、1か月、年間のスケジュール、ワークパターンを知る            ③「愛される美容部員・ネイリスト」として必要なこと            ④お客様をつかむ店頭・サロンについて            ⑤クレーム・トラブルを乗り越えるためには</p>					
学習目標 (到達目標)	店頭・サロンに立ったことを想定し、好感度のある立ち振る舞いは出来るようになる。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】 様々な美容業界の職種があることを知る			セイファート、リクルートなどの講演		
2	【1年生】 サロン体験			各自で希望する店舗やサロンに出向き、観察する。		
3	【1年生】 お出迎え～お見送りのロープレ			言葉遣い、誘導の仕方などの実習		
4	【2年生】 美容部員・ネイリストの仕事について			現場経験談を教務から伝える		
5	【2年生】 1日、1か月、年間のスケジュール、ワークパターンを知る			補助プリントやネットを使い、シーズン毎・年齢層毎のトレンドを知る		
6	【2年生】 「愛される美容部員・ネイリスト」として必要なこと			卒業生の話		
7	【2年生】 お客様をつかむ店頭・サロンについて			補助プリントを使い、自分のサロンを考えてみる		
8	【2年生】 クレーム・トラブルを乗り越えるためには			現場体験談を元に補助プリントにまとめる		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70%、レポート30%  成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				現場を知ることが、とても重要です。先生方や卒業生の体験談を聞き、今、自分に不足しているものなどを知ることが大切です。接客に必要な言葉遣いや誘導の仕方、ご提案の仕方などを学びましょう。そのために、実際に店舗やサロンに行くなど体験することも大きな学びを得ることができるでしょう。		
実務経験教員の経歴						

科目名	モニター実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	71	
授業概要、目的、授業の進め方	①店長決め ②サロン名・メニュー決め ③準備物の作成 ④ロープレ ⑤モニターサロン実習					
学習目標 (到達目標)	クラスで協力し、サロンを運営する。積極性・責任感・協力することを学ぶ。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
2	【1年生】準備物の作成			実習・制作		
3	【1年生】ロープレ			実習		
4	【1年生】保護者に対してのモニターサロン運営			実習		
5	【1年生】在校生に対してのモニターサロン運営			実習		
6	【2年生】店長決め、サロン名・メニュー決め			学生ミーティング		
7	【2年生】準備物の作成			実習・制作		
8	【2年生】集客方法			学生ミーティング		
9	【2年生】ロープレ			実習		
10	【2年生】一般の方に対してのモニターサロン運営			実習		
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				店長を中心に、話し合いを行いながら進めていきます。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができます。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにしましょう。		
実務経験教員の経歴						

科目名	制作実習					【対面授業のみ実施】
担当教員	武美幸・植木絵美・大島莉奈			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	47	
授業概要、目的、授業の進め方	卒業制作に向けての構築・制作					
学習目標 (到達目標)	卒業制作ショーの企画構成					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像やメイク関連授業・ネイル授業など					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	リーダー選出			クラスから立候補・推薦でリーダーを決定する。		
2	テーマ・ショーの概要構築			意見・要望を出して話し合い		
3	モデル選出			テーマに合ったモデル選出を話し合い決定する。		
4	ヘアメイク・ネイル・衣装構築			担当者・チームに分かれデザインを構築する。		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				リーダーを中心に、話し合いを行いながら進めていきます。報告・連絡・相談・確認の徹底をすることで、クラスが共通認識で準備をすることができます。周囲の様子を見ながら、手伝うのはもちろん声掛けを行うようにしましょう。		
実務経験教員の経歴						



科目名	パーソナルカラー					【対面授業のみ実施】
担当教員	平 知香子			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	60	
授業概要、目的、授業の進め方	色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1の取得を目指し、カラーの基本的な知識を習得する。またドレープを使用したパーソナルカラーの見極め方も学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	パーソナルカラーの基本的な知識と技術の習得。またパーソナルカラー検定モジュール1の取得。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	テキスト「はじめてのパーソナルカラー」、補助プリント、配色カード、カラードレープ					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	パーソナルカラー検定について、パーソナルカラーとは			講義 テキスト p 6～17		
2	色が見える条件と感情効果			講義 テキスト p 18～25		
3	色のしくみを学びましょう			講義 テキスト p 26～41		
4	基本の配色方法とは			講義 テキスト p 42～47		
5	フォーシーズンってなあに？			講義 テキスト p 52～57		
6,7	試験についての総まとめ			これまでの復習		
8,9	要点チェック			これまでの復習		
10～12	検定対策、模擬試験			これまでの復習、過去問		
13～16	ドレープを使用したパーソナルカラー診断			講義、相モデルでの実習		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 80%、学習意欲 20% 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				意欲を持って、積極的に授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	修了制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	1年間の集大成として、学んだ技術をクラス単位で作り上げ、ショー形式で発表。					
学習目標 (到達目標)	1年間の集大成として、学んだ技術をクラス単位で作り上げ、ショー形式で発表。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイク道具、ヘア道具一式					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	修了制作について			過去のステージ発表映像を見せる、テーマ決め、構築		
2	役割決め、衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
3	衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
4	衣装・備品制作、実技練習			チームに分かれ制作、練習		
5	校内リハーサル			音楽に合わせて通し練習		
6	前日リハーサル（新潟県民会館）			立ち位置・音響・照明など最終確認		
7	修了制作本番					
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				1年間で習得した知識と技術使い、学生主体でクラス一丸となりステージ発表を行う。2年次に行う卒業制作に向けてクラスの協調性高める。		
実務経験教員の経歴						

科目名	卒業制作					【対面授業のみ実施】
担当教員	武美幸、植木絵美、大島莉奈			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年	開講時期	後期	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	30	
授業概要、目的、授業の進め方	2年間で習得した知識と技術(メイク、ヘアアレンジ、ネイル等)を活かし、学生主体で企画構成をしたヘアメイクショーを作りステージ発表をする。					
学習目標 (到達目標)	2年間で習得した知識と技術(メイク、ヘアアレンジ、ネイル等)を学生主体で企画構成をしたヘアメイクショーを作りステージ発表をする。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	1年次修了制作での経験と過去の映像やメイク関連授業・ネイル授業など					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	テーマ決定、構成・音楽(BGM)・ライティングを決める。			モデル・技術者・機材等担当を決める。		
2	テーマに沿ってのヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			意見を出し合い実際にヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
3	ヘア・メイク練習。構成(内容・動き・ウオーキング)・音楽(BGM)・ライティングなど。衣装作成			グループごとヘアアレンジやメイクの練習をして仕上げ完成を決めていく。衣装・小物作成		
4	クラス紹介画像			クラス全員の紹介画像作成		
5	校内リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
6	前日会場リハーサル			本番の時間・音楽・動きをして確認をする		
7	卒業制作ショー当日本番			多くの保護者や在校生に向け、2年間の集大成である学習成果をヘアメイクショーとしてステージ発表する		
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率 80% 学習意欲 20% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				2年間で習得した知識と技術を、学生主体でクラス一丸となりコミュニケーションを図りながら、構成・音楽などすべてを構築して学習の成果をステージ発表する。		
実務経験教員の経歴						

科目名	選択ネイル					【対面授業のみ実施】
担当教員	齋藤 明子・水落 眞子		実務授業の有無	○		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	—	時間数	69	
授業概要、目的、授業の進め方	①当日のシラバスを伝え、到達目標を確認 ②デモンストレーション ③相モデルで演習・チェック					
学習目標 (到達目標)	ネイリスト技能検定試験2級レベルの技術と知識を身に付け、検定取得をする					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	JNAテクニカルシステム ベーシック					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	教材配布、商材の特徴説明			JNAテクニカルシステム ベーシックP98		
2	チップラップ デモンストレーション後、練習用ハンドで実習			実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP107~109、P113~115)		
3	チップラップ デモンストレーション後、相モデルで実習			実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP107~109、P113~115)		
4	ネイリスト技能検定試験2級 要項確認			JNEC主催 ネイリスト技能検定試験要項		
5	ネイリスト技能検定試験2級対策 実習・筆記			実習 (JNAテクニカルシステム ベーシックP107~109、P113~115、P8~61)		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験 20%、学習意欲70% レポート10% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				サロンワークで求められる技術力を身に付けるために、確認をしっかりと行いながら実習授業を受けましょう。そして、決められた時間内に仕上げることも必要なので、時間管理も意識しましょう。また、ネイリスト技能検定試験2級合格に向けての練習も重要です。		
実務経験教員の経歴	ネイリストとして現在活躍中。日本ネイリスト協会 本部認定講師であり、検定課題はもちろ現場で必要な知識・技術指導も可能。					

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	パソコン					【対面授業のみ実施】
担当教員	加賀 大嗣			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	112	
授業概要、目的、授業の進め方	パソコンの基本操作をWord・Excelをベースに学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	Word検定3級取得(任意)、Excel検定3級取得(任意)					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word(2013)クイックマスター基本編、Word技能検定試験問題集3級 Excel(2013)クイックマスター基本編、Excel技能検定試験問題集3級					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
	1年次 Word					
9月	ブラインドタッチ			Word技能検定試験問題集		
10月	ブラインドタッチ			Word技能検定試験問題集		
11月	図の挿入			Word技能検定試験問題集		
12月	表の挿入			Word技能検定試験問題集		
1月	期末テスト「添え状制作」			Word技能検定試験問題集		
2月	Word3級受験			Word技能検定試験問題集		
	2年次 Excel					
前期	表の作り方、関数の入れ方、図の挿入			Excel技能検定試験問題集		
後期	演習問題			Excel技能検定試験問題集		
後期	excel検定試験			Excel技能検定試験問題集		
後期	POPの作成			Excel技能検定試験問題集		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 40%、学習意欲 20%、出席率 40% 成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				社会に出てから必要なスキルになります。		
実務経験教員の経歴						

科目名	接客マナー					【対面授業のみ実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島利奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	27	
授業概要、目的、授業の進め方	基本的な社会人マナーを身に付け、接客接遇を学ぶ。また、後期に実施するモニターサロンに向けての接客のアドバイス、指導を行う。					
学習目標 (到達目標)	基本的な社会人マナーを身に付ける。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	挨拶、表情、身だしなみの重要性			講義、ロープレ		
2	敬語、基本的な社会人マナーについて			講義、ロープレ		
3	これまでの復習、ロープレ			講義、ロープレ		
4	お出迎えからお見送りまでのロープレ			講義、ロープレ		
5～7	モニターサロンに向けたアドバイス、ロープレ			ロープレ		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
実技試験 80%、学習意欲 20%  成績評価基準：A(80~100点)・B(79~70点)・C(69~60点)・D(59点以下)とする。				受講の際は、リクルートスーツを着用し、身だしなみにも気を配る事。また、意欲を持って積極的に授業に参加すること。		
実務経験教員の経歴	マナー講師として10～15年携わっている。					

科目名	就職実務					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島利奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデューズ	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	121	
授業概要、目的、授業の進め方	就職に対しての心構えを身につけ、就職活動に必要な事柄を計画的に学ぶ。 座学形式、グループディスカッション、模擬面接形式、ロールプレイングなど					
学習目標 (到達目標)	就職に対しての心構えを身につける。 就職活動に必要な知識を習得し、採用試験で活かす。					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	『実践ビジネスマナー』、『SUCCESS』、補助プリント					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
5月	社会人としての心構え、身だしなみ、敬語			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P8～30		
6月	来客対応、接遇			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P32～55、ロールプレイング		
7月	期末試験対策（敬語、席次について）			『実践ビジネスマナー』、補助プリントに沿って指導		
9月	求職登録について 動機付け、自己分析			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P6～26		
10月	自己PR作成、求職登録票作成			補助プリントに沿って指導、作成		
11月	求職登録面接練習（入退室、受け答え）			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P66～69		
12月	就職活動の流れ、企業研究の仕方			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P14～15		
1月	履歴書の書き方、報告書、提出書類の作成			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P52～58		
2月	企業訪問について（アポイントメント、お礼状）			講義、アンダーライン、プリント記入 『SUCCESS』P59～64		
4月	就職ガイダンス企業研究			就職ガイダンス企業一覧、求人票をみながら研究		
5月	志望動機、自己PRのブラッシュアップ			講義、補助プリントに沿って作成		
6月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
7月	面接練習			ロールプレイング、フィードバック		
1月	社会人としての心構え、接遇			卒業生の講話、ロールプレイング		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 70% レポート30 % 成績評価基準：A(80～100点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)とする。				自らの進路に向けて就職意識を持ち、受ける事。 授業で習得したことを日常生活に活用し実践すること。		
実務経験教員の経歴						

②

国際ビューティモード専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション実践					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、大島莉奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデュース	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	179	
授業概要、目的、授業の進め方	人間力の向上のために行う。クラス内でのディスカッションや、団結力・協調性の向上を図っていく。					
学習目標 (到達目標)	人間力育成・向上					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	入学時・進級時オリエンテーション			入学時のコミュニケーションとしてゲーム等を交え実施		
2	学園祭			1.2年次7月 学園祭を通し、よりいっそうのコミュニケーションを図る		
3	大運動会			1.2年次10月 大運動会を通し、協調性の向上を図る		
4	外部セミナー			人間力セミナー、美容セミナー開催		
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%				イベントの弍るみしっかり周知させ、参加意欲を上げる様に心掛ける事。		
実務経験教員の経歴						



科目名	総合人間性学習					【対面授業と遠隔授業の併用実施】
担当教員	木村亜友、高野翼、武美幸、植木絵美、大島利奈、田村芽依			実務授業の有無		
対象学科	ビューティプロデューズ	対象学年	2年間	開講時期	通年	
必修・選択	必須	単位数	—	時間数	86	
授業概要、目的、授業の進め方	人間力向上のために、必要な事柄を学習や体験で身に付けていく。クラス目標の決定やディスカッションなどクラス内の団結力・協調性向上や個人目標の決定・振り返りなど様々な事が鰻をクラス単位の授業として取り組みます。					
学習目標 (到達目標)	人間力、協調性、の向上、個人目標の設定					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学テキスト					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	【1年生】実践行動学 Part1 意欲的な心構えについて			テキストを使い、ディスカッション&記入形式で行う		
2	マジックドア1 夢と目標について			P1～P7 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
3	マジックドア2 誤った思い込みと言い訳			P8～P13 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
4	マジックドア3 行動のよりどころと心構え			P14～P22 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
5	マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために			P23～P32 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
6	マジックドア5 目標を設定しよう			P33～P42 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
7	【1年生】国内研修 ホスピタリティーについて			11月 デイズニーランドのホスピタリティーを学ぶ		
8	【1年生】実践行動学 Part2 自分の可能性を広げよう			テキスト使い、ディスカッション&記入形式で行う。		
9	マジックドア1 プラス思考が自分の可能性を大きく広げる			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
10	マジックドア2 考え方を変えれば行動が変わる			P5～P11 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
11	マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決できる			P12～P19 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
12	マジックドア4 あなたのコミュニケーションを見直そう			P20～P27 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
13	マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる			P28～P36 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
14	【2年生】実践行動学Part3 社会へ出る準備を始めよう マジックドア1 入学から今日までの成長を実感しよう			P1～P4 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
15	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう マジックドア3 自分が最大限に活きる働き方とは			P5～P10 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える P11～P14 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
16	マジックドア4 将来を描いてみよう			P15～P20 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
17	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			P21～P24 グループディスカッション、テキストを使い現状の自分を考える		
18	【2年生】海外研修 グローバルスタンダード教育の一環として、幅広い世界の技術や知識を吸収する。			2年次11月～12月 教育提携校での研修		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%。				学生の学習意欲が向上するようになぜ必要なのかを、始める前にしっかり導入し、環境を整える事が重要である。		
実務経験教員の経歴						